

# 木材の魅力を発信

## 伏見 モデル工房オープン



北山杉でティッシュペーパーを入れる箱を作る来場者（京都市伏見区）

京都市の「京の杣人工房事業」の一環として、木材の魅力を発信する「伏見区モデル工房」が二十五日、伏見区竹田西小屋ノ内町の住宅展示場内でオープンした。

市は、市内で生産された木材の消費拡大を目的に、住宅展示場などの一角に「モデル工房」を設置し、消費拡大を図る事業に取り組んでいる。

この日設置されたの

は、住宅販売会社や木材生産者らでつくるグループ「木好京室」のモデル工房。北山杉で改装したモデルルームなどが常設展示され、木の香りが漂う落ち着いた雰囲気の間が広がっていた。

この日はオープニングイベントもあり、北山杉の生産者が加工品を販売したり、木工教室が開かれた。イベントは二十七日もある。